

プレカット ニュース

一般社団法人 全国木造住宅機械プレカット協会

東京都千代田区永田町2丁目4番3号永田町ビル6階

TEL 03 (3580) 3215 FAX 03 (3580) 3226

<http://www.precut-kyokai.com>



新年のご挨拶

一般社団法人 全国木造住宅機械プレカット協会
会長 原田 実生

新年あけましておめでとうございます。皆様には、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、常日頃より、当協会の取組にご理解ご協力を賜っておりますことに厚く御礼を申し上げます。

さて、令和4年は2月のロシアのウクライナ侵攻やその後の急激な円安と世界的な規模で連続する危機的状況にさらされた年となりました。新型コロナウイルス感染症は種を変えつつも拡大・縮小を繰り返していますが、世界はウィズコロナに向けて動き出し、米国の金融政策が緩和から引き締めが変わっていく中で、我が国は急激な円安に見舞われました。1ドル150円台は、バブル末期の平成2年以來の実に32年ぶりの水準だとか。年明けからの中国のゼロコロナ政策や米国西海岸のコンテナ船の滞留などで世界の物流が停滞する中、我が国の輸入資材の荷動きも停滞、国内需要と相まって木材の在庫も膨らんだと聞きます。産地価格の動向や今後の為替相場の先行き懸念から、現在のところ市中相場も大幅下落には至っていませんが、第4クォーターの外材は厳しい見通しもあります。

このような中で、昨年我が国の新設住宅着工戸数を見てみると、対前年同月比で5月から減少に転じ、8・9月には増加に戻したものの、10月には再び減少となりました。木造住宅については、対前年同月比で4月から減少が続いています。米国では、政策金利の引き上げが始まった昨年の春以降、住宅着工が減少しているところであり、我が国も今後の政策金利の動向によってはさらに厳しい状況もあるのかもしれない。

このように新設住宅着工がボリューム的には厳しい状況となっているものの、今後はその中身の変化に的確に対応していくことが重要になってくるものと考えます。昨年6月に「改正建築物省エネ法・改正建築基準法」が公布されました。改正法は3年に分けて施行されていく予定ですが、3年目の令和7年4月に施行が予定されている「原則全ての新築住宅・非住宅に省エネ基準適合の義務付け」や「建築確認審査の対象となる建築物の規模の見直し（4号特例の見直し）」は大きな変化であり、特に4号特例の見直しについては、プレカット工場の対応に住宅ビルダー等からの期待が寄せられるものと考えます。このような中で、昨年11月25日に改正法の円滑な施行に向けて、関係者が連携し、実効ある周知活動を展開するための「改正建築物省エネ法・建築基準法の円滑施行に関する連絡会議」が開催され、協会もメンバーとして参画することとなりました。

4号特例の見直しに伴う具体的な措置は、今後の動きを注視していくほかないと考えますが、協会が毎年実施している「プレカットCAD技術者研修」では、今年度のカリキュラムを見直して、プレカット工場の中核を担うCADオペレーターを養成するコースでは、木質構造計算の演習を中心としたカリキュラムとし、構造計算に係る理解を深め、応用力を培うものとして、会員各位の対応力向上の一助になればと考えているところです。

本年が皆様方にとって素晴らしい一年となりますようにご祈念申し上げ、併せて皆様方の当協会に対する一層のご理解ご協力をお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

令和3年会員プレカット工場基礎調査の集計結果(第4回報告)

令和3年12月末現在で実施した「令和3年会員プレカット工場基礎調査」の集計結果の第4回報告では、会員工場における「職員数と有資格者数」、「事業の形態」について報告します。(調査回答数:34社)

【職員数と有資格者数】

1 職員数(1工場当たりの平均) (単位:人)

事務所		工場		CAD部門	
正規	臨時	正規	臨時	正規	臨時
15.1	1.1	35.6	6.1	14.3	0.4

2 有資格者数(1工場当たりの平均) (単位:人)

建築士			CAD技術者研修認定登録者(当協会が実施)		
1級	2級	木造	1級	2級	3級
0.5	3.4	0.0	0.4	2.8	0.2

【事業の形態】

1 主な納品先の割合(全体平均)

住宅ビルダー	流通・問屋・資材会社	木材加工業者	計
68	24	8	100

2 「1」の住宅ビルダーの内訳(全体平均の割合)

大手住宅メーカー	地域ビルダー・工務店	大工・小規模工務店	その他	計
38	42	12	8	100

3 プレカット材以外の取扱量

(1) 住宅(年間販売棟数)

7社で、計9,395棟の実績。

(2) 木材の取扱量(年間)

	工場数	製材(m ³)	集成材(m ³)	合板(m ²)	その他(m ³)
木材の加工量	9社	107,980	68,239	3,556	8,750
流通・販売量	5社	12,843	4,518	2,810	14,080

《補足説明》

- ・CAD部門に20人以上の職員を配置している者が17%ある一方で、10人未満の職員を配置している者が34%でした。
- ・建物の規模的に2級建築士の範囲で対応可能とする者がほとんどでしたが、建築士がいない工場が9%ありました。
- ・協会が実施するCAD技術者研修認定登録者がいない工場が26%ありました。
- ・「プレカット材以外の取扱量」については、調査が分かり難く回答が少なかったため、次年度調査ではもっと分かりやすい問いだてを検討します。

プレカット業況調査 (令和4年11月期)

一般社団法人全国木造住宅機械プレカット協会調べ (回答率34%)

設 問	回答比率 (%)			DI	前回DI
	(1)	(2)	(3)		
1-1 今月の受注額は3ヵ月前と比べて如何ですか。 (1) 好転 (5%以上の伸び) (2) 変わらず (±5%未満) (3) 悪化 (5%以上の減)	11	64	25	-14	-10
1-2 3ヵ月後の受注額をどう予測しますか。 (1) 好転 (5%以上の伸び) (2) 変わらず (±5%未満) (3) 悪化 (5%以上の減)	4	32	64	-60	-35
2-1 貴社の坪当たり平均総加工単価はいくらですか。	平均:5,200円(対前回調査-300円)				
3-1 今月の製品加工単価は3ヵ月前と比べて如何ですか。 (1) 好転 (5%以上の伸び) (2) 変わらず (±5%未満) (3) 悪化 (5%以上の減)	4	82	14	-10	-6
3-2 3ヵ月後の製品加工単価をどう予想しますか。 (1) 好転 (5%以上の伸び) (2) 変わらず (±5%未満) (3) 悪化 (5%以上の減)	4	64	32	-28	-23
4-1 今月の資材(製品)入手状況は如何ですか。 (1) 容易 (2) 変わらず (3) 困難	54	46	0	+54	+61
4-2 3ヵ月後の資材(製品)入手状況をどう予測しますか。 (1) 容易 (2) 変わらず (3) 困難	29	64	7	+22	+39
5-1 今月の収益は3ヵ月前と比べて如何ですか。 (1) 好転 (5%以上の伸び) (2) 変わらず (±5%未満) (3) 悪化 (5%以上の減)	7	50	43	-36	-6
5-2 3ヵ月後の収益をどう予測しますか。 (1) 好転 (5%以上の伸び) (2) 変わらず (±5%未満) (3) 悪化 (5%以上の減)	0	36	64	-64	-39

*DI=(1)の%- (3)の%、+の数値が大きいほど好況、-の数値が大きいほど不況。

*前回調査:令和4年8月

【調査結果の分析】

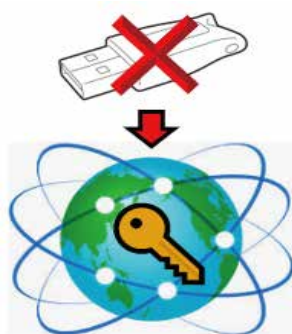
- 1 受注額の今月のDIは-14で、前回の-10から若干悪化が増加しました。また、3ヶ月後の予測は前回の-35から-60にさらに悪化する見通しで、先行きの見通しは厳しい状況となっています。
- 2 構造材の平均加工単価は5,200円と前回比で-300円となりました。DIにつきましても-10の悪化の状況で、3ヶ月後は-28とさらに悪化する予測となりました。
- 3 資材入手状況については、今月のDIは+54で、困難の回答は「0」でした。また、3ヶ月後の予測DIについても+22と容易が続く見通しとなっています。
- 4 収益についての今月のDIは-36と前回の-6から悪化しました。3ヶ月後の収益予測についても-64と前回の-39よりも更に厳しい見通しとなっています。

「プレカット工場DX」のご提案 (第1回)

プレカット工場が木材産業DXの最先端となっていただくべく、会員様からのご提案のページを作りました。第1回はネットイーグル(株)様からのご提案です。

ネットイーグルのDXへの取り組み

多くの人がDXを意識するようになったのが「コロナ禍で始まったテレワーク」からと言っても過言ではありません。テレワーク環境を整えるためにはDX（デジタルによる変革）が欠かせないため、企業はこうした背景を踏まえ、プレカット企業様向けに次に掲げる3つのDXツールを開発し提供（リリース）しています。



【1】ネットキー

当社のプレカットCADは、すべてがネットキーで動きます。従来まではUSBポートに差し込んで使う物理キーが一般的でしたが、コロナ禍によるテレワーク対応が急務となり一気にネットキー化へと舵を切りました。

物理キーの場合、CADをパソコンごとテレワーク場所に移す必要がありましたが、ネットキーの場合、ネットキーの番号さえ分っていれば、どのパソコンでもCADを動かせるようになります。例えば、本社に1台、支店に1台、自宅に1台とCADをインストールしておけば、ネットキーでどの場所のパソコンでもCADを動かすことができます。ベトナム・中国など海外でCAD代行入力・設計を行う場合、ネットキーはバツグンの合理性・利便性を発揮します。ネットキーは（人）非接触型のDXツールです。

【2】ペーパーレス・ネットワーク・パースシステム（以下、PNPS）

PNPSはタブレット端末を使ってペーパーレスで検品できるネットワーク管理システムです。従来までは検品用に加工図を印刷し、ペンや蛍光マーカーを使ってチェックし、その紙は数年間倉庫に保管しておく必要がありました。



PNPSはタブレット端末に表示される加工図と実体パースを見て検品する仕組みとなっており、実体パースと実際に加工されたものとを比較（チェック）するため、誰でも外国人（海外実習生等）でも一目瞭然で検品できます。「検品がどこまで進んでいるか？」の進捗状況もリアルタイムに把握することができ、また「誰がいつ検品したか？」の検品履歴もデータ管理なのですぐ探すことができます。何よりペーパーレスなので紙の保管場所も必要ありません。

PNPSの実体パースは、金物取付作業に最も有効です。金物・ボルト・ドリフトピン等の納まりがCGパースで実体表現されているため、誰でも間違えず正しく取り付けることができます。またCADで工場に指示しておきたいこと（化粧サンダー、別梱包等）も注記で加工図に付け加えることができます。PNPSはネットワーク上で動作するシステムなので、CADデータをネットで受け取れば、すぐ加工を始めることができます。PNPSも非接触型のDXツールです。



【3】クラウドパースチェッカー（以下、CPC）

CPCはプレカット工場が作成したCADデータをインターネットを介して取引先（工務店、設計事務所、施工業者等）の誰でもが無料で閲覧・操作できるソフトウェアです。取引先はCPCを使ってインターネット上のクラウドサーバーからプレカット工場が作成したCADデータを受け取り、構造伏図・任意断面図・全体パース・部分パース・リアル加工パースを無料で閲覧・操作できるようになります。

CPCを使えば、取引先とネット上で構造伏図をチェックしてもらったり、各部の納まりをCGパースで確認してもらったりすることが、簡単にかつ円滑に行えるようになります。またCPCのパース表現は現場施工時の構造確認にも有効に使えます。コロナ禍で取引先へ訪問できない、メールと電話では確認しづらいなど、テレワークだからこそCPCは、取引先との強力なコミュニケーションツールとして威力を発揮します。CPCは当社のホームページから無料ダウンロードでき、誰でも簡単にインストールすることができます。CPCも非接触型のDXツールです。